

『(財) 中島記念国際交流財団助成』(独) 日本学生支援機構実施事業

第三の故郷を見つける農家民泊 2017 実施報告書



かたくり館にて (仙北市西木町)

平成29年11月

秋田地域留学生等交流推進会議

目 次

はじめに	1
I. 参加者名簿	2
II. 実施要項	4
III. 実施スケジュール	6
IV. 活動報告	
1 班	8
2 班	9
3 班	10
4 班	11
5 班	12
6 班	13
7 班	14
8 班	15
V. アンケート結果	
農業体験ツアー 留学生・日本人学生アンケート	16
農業体験ツアー 受け入れ農家アンケート	18
収穫感謝祭ツアー 留学生・日本人学生アンケート	20
収穫感謝祭ツアー 受け入れ農家アンケート	22
おわりに	24

11月4日(土)・5日(日) 農業体験ツアー











11月26日 (日)
収穫感謝祭ツアー

もちつき





笹の葉もち作り





アルバムをプレゼント





再会を約束して、みんなで記念撮影



今年も「第三の故郷を見つける農家民泊」を実施いたしました。私は今年、カク イタクさん、ワシニ アラヤワタナウエトさん、ムンフザヤー ホランさんと共に、沢山さんのお宅にお世話になりました。沢山純一さん、節子さんご夫婦は、農家のそば屋一助というお店を営んでおり、私達は、沢山さんのお宅で、おいしいお蕎麦をいただきました。純一さんからは、そばの種播きから、収穫、粉挽き、手打ち、お店に出すまでのプロセスをうかがいました。そこで分かったことは、純一さんが、手間と愛情を惜しみなくかけ、心をこめてそばを作っているということです。また、純一さんのお話からは、地元への深い思いが伝わってきました。自身で育てた野菜、粟、お米、きのこのおいしさ、山々の美しさ、仕事の後の温泉のすばらしさを熱く語ってくれました。また、子供の頃の話、東京で就職し、節子さんと出会い、お子さんに恵まれ、ふるさとに戻り、一助を営むに至るまでの人生話はとても興味深いものでした。節子さんからは、故郷や東京、仙北市での生活、農家民泊を始めるまでの経緯などをうかがうことができました。薪ストーブを囲んで聞くお二人の話はとても興味深く、魅了されました。

農家民泊の魅力の一つは、農業体験のみならず、こういった一人一人の深い人生を知ることができることです。そして、農業に対するプロ意識に触れることができる点です。また、毎回、感心させられるのは、農家の方達が私達を受け入れてくださる際の場づくりの妙です。言葉が十分ではなくても、なぜか伝わってくるあたたかさ、安心感は、私だけではなく、留学生の多くも感じています。(この点については、市嶋(2014)に執筆しました。興味のある方はこちらをご覧ください。)

本事業は、9年前に実施されてから、少しずつ形体を変えながら、現在まで継続しています。このように長期に渡った交流事業は他に類を見ないでしょう。本事業をとおして構築された関係性やノウハウは、かけがえのないものです。今後も継続的に本事業が実施できることを願ってやみません。また、来年も農家の方達の人生の一部に触れることができるのを心から楽しみにしています。

【参考文献】

市嶋典子(2014)「農業従事者と留学生の接触場面に関する一考察—農業体験活動における調整行動に注目して」『秋田大学国際交流センター紀要』3, 1-13.
<http://hdl.handle.net/10295/2370>

【付記】

本事業は、財団法人中島記念国際交流財団の助成を得て実施されたものです。

第三の故郷を見つける農家民泊 参加者名簿／Find Your Third Hometown Farmstay in Nishiki Participants List

班 Group	リーダー Leader	名前 Name	英語表記 English	所属 Institution	出身地 Country	性別 Sex
Kadowaki Syoko 1. 門脇 昭子さん Seisetsukan (星雪館)		Terri Lee Nagahashi	テリー リー ナガハシ	Akita Prefectural University	U. S. A	F
	◎	服部 沙耶佳	ハトリ サカ	Akita International University	Japan	F
		金 由真	キム ヨシマキ	North Asia University	Korea	F
		Khurel Ochir Dolgormaa	フレル オチル ドルゴルマ	Akita University	Mongolia	F
		Aline Diantami Kesuma	アリン ティアンタミ ケスマ (アリン)	Akita National College of Technology	Indonesia	F
Fujii Keiko 2. 藤井 けい子さん Taizando (泰山堂)	◎	李 華傑	リ カゲウ/Li Huajie	Akita University	China	M
		Abigail MEYER Laura	メイヤー アビゲール ロー	Akita International University	U. K.	F
		周 詩思	シュウ シシ/Zhou Shisi	Akita University	China	F
	◎	奥山 健人	オカヤマ ケント/Okuyama Kento	Akita University	Japan	M
Takahashi Yukiko 3. 高橋 由希子さん Nodoka (のどか)		苗 暉	ミヨウ ヒメ/Miao Ye	Akita Prefectural University	China	F
		Keegan BEAMER Nelson	キーガン ベイマー ネルソン	Akita International University	U. S. A	M
		Sharumadhi Veloo	シャラムアディ ヴェール (シャル)	Akita National College of Technology	Malaysia	F
	◎	山村 しの	ヤマムラ シノ	Akita International University	Japan	F
		菊地 佳奈	キクチ カナ/Kikuchi Kana	Akita Prefectural University	Japan	F
Sato Yui 4. 佐藤 由井さん Satoakar i (里の灯)		Francesco Frau	フランチェスコ フラウ	Akita University	Italy	M
		Tran Anh Tu	チン アン トク	Akita University	Vietnam	M
		高橋 摩鍾	タカハシ マム/Takahashi Mamu	Akita University	Japan	F
Kadowaki Saemi 5. 門脇 砂絵美さん		Erika Mirielle ADAMOS Tan	エリカ ミリエル アダモス タン	Akita International University	Philippines	F
	◎	鄭 化水	テイ カトウ/Zheng Huabing	Akita University	China	F
		安部 茜	アベ アカネ/Abe Akane	Akita University	Japan	F
Nomi Noriko 6. 能美 紀子さん Nishinoie (西の家)	◎	金 ハンソル	キム ハンソル/Kim Hansol	Akita University	Korea	F
		布谷 里紗	フタヤ リサ/Nunoya Risa	Akita Prefectural University	Japan	F
		Parichamon DEJWANAPONG	パリンヤモン デウワポン	Akita International University	Thailand	F
Sawayama Setsuko 7. 沢山 節子さん Ichisuke (一助)		市嶋 典子	イチマ ヌリコ/Ichishima Noriko	Akita University	Japan	F
	◎	赫 イ卓	カク イカク/He Yizhuo	Akita University	China	F
		Wasini ARAYAWATHANAWET	ワシニ アライワタナワエト	Akita International University	Thailand	F
	Munkhaya Khulan	ムンフヤ ヤー ホラン	Akita University	Mongolia	F	
Sasaki Hiroko 8. 佐々木 弘子さん Kurinoki (くりの木)		西野 智路	ニシノ トモチ/Tsushino Tomomichi	Akita National College of Technology	Japan	M
	◎	橋本 真澄	ハシモト マスミ/Hashimoto Masumi	Akita Prefectural University	Japan	M
		金 延訓	キム ジョンフン/Kim Jung hun	Akita University	Korea	M
		Elizabeth QUINLAN Marie	エリザベス クインラン マリー	Akita International University	U. K.	F

※Akita University・・・秋田大学／Akita International University・・・国際教養大学／
Akita Prefectural University・・・秋田県立大学／North Asia University・・・ノースアジア大学

協力農家等

名前 Name	ヨミガナ／英語表記 English	宿泊受け入れ Group	農業体験 Farm Experience	収穫感謝祭 Harvest Festival
1 門脇 昭子	カドワキ ショウコ／KADOWAKI Shoko	1班	○	○
2 藤井 けい子	フジイ ケイコ／FUJII Keiko	2班	○	○
3 高橋 由希子	タカハシ ユキコ／TAKAHASHI Yukiko	3班	○	○
4 佐藤 由井	サトウ ユイ／SATO Yui	4班	○	○
5 門脇 砂絵美	カドワキ サエミ／KADOWAKI Saemi	5班	○	○
6 能美 紀子	ノミ ノリコ／NOMI Noriko	6班	○	○
7 沢山 節子	サワヤマ セツコ／SAWAYAMA Setsuko	7班	○	○
8 佐々木 弘子	ササキ ヒロコ／SASAKI Hiroko	8班	○	○

農業体験ツアー参加者数

参加者区分	秋田県立大	秋田工業高等専門学校	国際教養大学	ノースアジア大学	秋田大学	男	女	計
留学生	1	2	6	1	10	5	15	20
日本人学生	3	-	2	-	2	2	5	7
教員	1	1	-	-	1	1	2	3
職員	-	-	-	-	1	-	1	1
協力農家等	-	-	-	-	-	-	8	8
計	5	3	8	1	14	8	31	39

収穫感謝ツアー参加者数

参加者区分	秋田県立大	秋田工業高等専門学校	国際教養大学	ノースアジア大学	秋田大学	男	女	計
留学生	1	-	5	1	10	5	12	17
日本人学生	2	-	2	-	2	2	4	6
教員	1	-	-	-	1	-	2	2
職員	-	-	-	-	1	-	1	1
協力農家等	-	-	-	-	-	-	8	8
計	4	-	7	1	14	7	27	34

第三の故郷を見つける農家民泊 2017 実施要項

1. 目 的

本事業は、秋田県内で学ぶ留学生が農業体験を通じ、1) 随一の地場産業である農業と農家の暮らしを体験的に理解するとともに、2) 農家の方のお話から、仙北市西木町の魅力を認識し、本事業後も再び同地を訪れるような継続的な関係づくりを目指す。

留学生の出身地、秋田県内での勉学・生活の地に加え、仙北市西木町を第三の故郷として見つけ出してもらうことを最終目標とする。

2. 実施内容

二回の農業体験プログラムを通じ、仙北市西木町の生活を理解し交流を深める。

第一回目の「農業体験ツアー」では、農作業・農家民泊を体験したのち、各農家が協働で作った料理を持ち寄るとともに、ツアーの内容を振り返り全員で共有する。

第二回目の「収穫感謝祭ツアー」では、再度同じ顔ぶれで集まり、餅つき大会を開催するとともに、「農業体験ツアー」での思い出をアルバムにまとめ農家の方に贈呈する。また、農家の方と西木町での生活の魅力を語り合う時間を設け、留学生の再訪へとつなげる。

(1) 第一回目 「農業体験ツアー」

- 1 グループごとに各農家に分かれ農作業を体験
- 2 農家に宿泊し、グループメンバー同士や農家の方々とさらなる交流
- 3 参加者全員で、各農家で留学生と協働で作った料理を持ち寄り、かたくり館にて昼食会と農作業体験の振り返りを行う

(2) 第二回目 「収穫感謝祭ツアー」

- 1 第一回目と同じ顔ぶれで集まり、餅つき大会を開催
その後、地元農作物やお餅を用いて調理
- 2 各グループで農業体験ツアーを振り返ってのアルバム作成
- 3 料理を食べながら、交流会とアルバム贈呈を実施

(3) 最終成果を留学生交流推進協議会のウェブサイト上に報告書として公開

3. 参加予定 県内在住の外国人留学生人24人, 日本人学生7人,
協力教員・引率4人, 西木町の地域住民7人 計42人
4. 実施期日 「農業体験ツアー」 平成29年11月4日(土)~5日(日)
「収穫感謝祭ツアー」 平成29年11月26日(日)
5. 実施日程 別紙のとおり
6. 募集期間 平成29年6月~9月予定
7. 主 催 秋田地域留学生等交流推進会議
8. 協賛・協力 グリーン・ツーリズム西木研究会, NPO 法人秋田花まるっグリーン・
ツーリズム推進協議会, 公益財団法人秋田県国際交流協会, 秋田モン
ゴル友好協会, 秋田地区日本中国友好協会, 仙北市観光商工部観光課
農山村体験デザイン室
9. 参加料 無料
10. 問合せ先 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
秋田地域留学生等交流推進会議事務局
秋田大学国際課内 安部
TEL 018-889-2856 FAX 018-889-3012
E-mail kokusai@jimu.akita-u.ac.jp

Find Your Third Hometown

***You are required to participate in both Farm Stay Tour and Harvest Festival Tour.**

Farm Stay Tour	October 1 (Sat.)
-----------------------	-------------------------

- 8:50 Meet at the AIU bus stop (AIU participants)
- 9:00 Leave AIU (by chartered bus)
- 9:20 Meet in front of the Akita University main gate (All other participants)
- 9:30 Leave Akita University
- 11:00 Arrive in Nishiki-machi, meet your hosts, and travel to farms. Enjoy lunch, farming experience, dinner, and a restful night in your host's home.

Please take a lot of pictures for the albums that we will make for our hosts in November!!

October 2 (Sun.)

- 6:30 Wake up
- 7:00 Breakfast
- 8:30 Farming experience
- 12:00 Arrive at Kasen Park (at Nishiki Katakuri Public Hall if it rains), Lunch with host farmers
- 13:00 Take a group photo
- 13:20 Introduce farming experience by each group
- 14:00 Fill out a questionnaire, free time
- 15:00 Leave Kawara Park(or Nishiki Katakuri Public Hall)
- 16:30 Arrive at AU
- 17:00 Arrive at AIU

Please take a lot of pictures for the albums that we will make for our hosts in November!!

Harvest Festival Tour	November 5 (Sat.)
------------------------------	--------------------------

- 7:50 Meet in front of the AIU bus stop (AIU participants)
- 8:00 Leave AIU (by charter bus)
- 8:20 Meet in front of the Akita University main gate (All other participants)
- 8:30 Stop over at Akita University to pick up all other participants
- 10:00 Arrive at Nishiki Katakuri Public Hall, enjoy Harvest Festival-Cooking, eating, and making photo albums
- 14:20 Take a group photo, fill out a questionnaire, free time
- 15:00 Leave Nishiki Katakuri Public Hall
- 16:30 Arrive at AU
- 17:00 Arrive at AIU

1 班活動報告（門脇昭子さん宅：星雪館）

国際教養大学 服部沙耶佳

私たち5人（引率のテリー先生，韓国人のユジン，インドネシア人のアリン，モンゴル人のドギナ，私）がお世話になったのは，星雪館。行きのバスで他の班がどんどん降りてそれぞれの宿泊先に向かう中，一番最後まで残された私たちは期待と少しの不安に胸をドキドキさせていた。到着するとホストの門脇さんが元気に出迎えてくださった。家の中には立派な薪ストーブが置いてあり，それを囲んで食べたお昼ご飯のカレーライスが格別だった。心も体も温まった後は，さっそく農業体験。薪ストーブに使う薪を運び，倉庫に積み上げるという作業をお手伝いさせていただいた。エアコンや電気ストーブしか使ったことのない私は，このような冬支度がとても新鮮だった。乾燥した薪がカラカラをぶつかり合う音に癒されたり，薪の隙間から大量に出てくるカメムシに驚愕したり，門脇さんたちと色々お話をしながら，皆とても楽しく作業することができた。ドギナはモンゴルで似たような体験をしたことがあるそうで，故郷を懐かしく思い出していたようだった。途中のおやつ時間では，手作りの揚げお焼きと凍みもちを用意していただいた。甘くて美味しいおやつに，「カロリー高いね」なんて言いながらみんな手が止まらなかった。ひと休みした後，門脇さんが私たちを温泉に連れて行ってくださった。アリンとユジンは温泉初体験で，広い露天風呂に感動していた。そこではガールズトークが盛り上がりすぎてしまい，皆危うくのぼせるところだった。帰宅すると，今度は待ちに待った夕食の時間。配膳されたお盆の上を見て，私たちはその豪華さに言葉を失った。焼き魚，おでん，栗ご飯，漬物などの小鉢，そして門脇さんの畑で採れたほうれん草のお鍋。それぞれ様々な工夫を凝らして料理されていて，見た目も味も最高だった。皆が幸せそうな顔で一品一品味わっている姿は今もはっきりと覚えている。私はもちろんだが，特に留学生がこのような日本の田舎の食文化を体験できたことは本当に貴重だったと思う。

二日目の朝，栄養たっぷりの朝ごはんを食べ，薪運びの作業を再開。エネルギー満タンの私たちは前日にも増して作業を頑張った。時間が足りなく，全て積み終えるという目標は達成できなかったが，最初は空っぽだった倉庫が薪で埋め尽くされたのを見たときは達成感でいっぱいだった。とにかく，星雪館は居心地がよく，時間が許すならばもっと長く滞在していたかった。

収穫祭では，まるで実家に帰ったかのような気持ちで皆と再会した。民泊では班ごとに分かれての活動だったが，収穫祭では皆でお餅をついたり笹の葉もちを作ったりと，他の班のメンバーや農家さんとも交流できて良かった。また，民泊時は紅葉がちょうど見頃だったが，収穫祭では一面雪で真っ白で，季節の変化を感じたとともに，「今年はカメムシが多いから雪がたくさん降るよ」という門脇さんの予想が的中していて驚いた。最後に皆で写真を見返して思い出に浸りながらアルバムを作成し，門脇さんに渡した時には本当に感謝の気持ちでいっぱいだった。3日間だけの交流だったが，「ただいま」とまた帰りたくなる故郷が一つ増えた。

今回の農家民泊では，普段の忙しい大学生活の中で忘れがちな，人の温かさや，自然とともに生きている，ということを実感することができた。また，このような企画を積極的に受け入れ，世界中に日本の田舎の良さを知ってもらおうとする農家の皆さんの姿勢に感銘を受けた。星雪館の門脇さん一家，1班の皆，農家民泊に関わった全ての皆さんに感謝したい。来年も再来年もその次も，このような素敵な経験ができる農家民泊がずっと続きますように。

2 班活動報告（藤井けい子さん宅：泰山堂）

秋田大学 李 華傑

前期の授業で、市嶋先生に勧められ、農家民泊を申し込みました。10月23日国際課からの知らせが来て、参加できて嬉しいと思いつつも、リーダーを担当させて頂くことは、やはり心細かったです。出発の日まで、グループのメンバーも調整したり、来られなくなったりして、最後イギリス出身のアビさん、中国出身の周詩思さんと私三人のグループで参加することになりました。

下車後、藤井さんは迎えに来てくださいました。眼鏡をかけて、銀髪の優しいおばちゃんでした。泰山堂に行く途中、おばあちゃんといろいろ話しました。おばあちゃんが10年前ぐらいにイギリスに行ったことと、前に宿泊した、農家民泊の学生さんのことを話していました。今年は9年目で、前は八人ぐらいのグループもあって、中国語、英語、韓国語を交えながら、ご飯を食べたと言ったおばあちゃんは思わず笑い出しました。今回三人のグループはちょっと寂しいじゃないかと私は思って、それと同時に農家の生活を楽しみに感じた時、泰山堂につきました。

おばあちゃんは昼ごはんの準備に行きました。暖房をつけて、床に座った三人はしゃべり始めました。アビさんの日本語はあまり上手ではないので、周さんは翻訳の役を担当しました。しばらくの間に、息子さんはご飯ができたと言った声に掛けに来ました。キッチンでおじいさんにも会いました。三人家族のほか、三匹の猫を飼っていました。アビさんは猫のことが大好きで、抱いたり餌をやったりして、嬉しそうに見えました。ベジタリアンのアビさんに気を回し、おばあちゃんは肉のないおにぎりをつくってくれました。昼ご飯の後、私達を連れておばあちゃんが大好きな公園や田沢湖に行きました。公園で砂の上に漢字や絵を書いたり、田沢湖展望台で虹の写真を撮ったり、車の中で自分が好きなものを話したりして、楽しい午後を過ごしました。晩御飯を作った時、私達も手伝いに来ました。おにぎりや寿司を作るのは日本で初めて体験しました。調理師でもあるおばあちゃんが作ってくれた料理は美味しくて、お皿はほとんど空になりました。9時まで、私達はずっと話し合っていて、中国、日本とイギリスの習慣の違いとか、今日本に流行っている言葉とか、特に指で数字の表し方について教え合い、みんな大笑いをしました。以前人数は多くて賑やかですが、こんなにちゃんと会話したのは初めてだとおばあちゃんは感心しました。

次の日、おばあちゃんはお弁当を作ってくれた時、私達はキウイを採りに行きました。おじいさんは箱を運んでくれて、息子さんと一緒に働きました。四人の中で、アビさんは一番背が高い人で、確かに有利でした。仕事は終わった頃、一人ずつ一袋のキウイのプレゼントをいただきました。弁当もできあがり、私達は車に乗って、おじいさんと息子さんに別れを告げました。かたくり館に到着後、みんなでお弁当を食べながら交流会は進みました。最後みんなで記念写真をとって大学に帰りました。

感謝祭の日にアビさんは用事があって来られなくなりましたが、私と周さんはアルバムを作りました。アルバムを渡すとき、「三日間お世話になりました、ありがとうございます」とおばあちゃんに言いました。受け入れてくださった藤井さん一家、秋田大学の教職員たちとこのプログラムを実施した中島記念財団の皆様、こんな素晴らしい体験をいただいて、本当にありがとうございました。

3 班活動報告（高橋由希子さん宅：のどか）

秋田大学 奥山 健人

「せっかく秋田の大学にいるのだから、秋田市外の文化や魅力も知りたい。」秋田での生活も3年目に差し掛かり、そうした思いがずっと心のどこかにありました。本イベントに過去参加した留学生の友人からの勧めも手伝い、迷わず本イベントに応募しました。

初めに、今回のファームステイ体験概要について簡単に紹介したいと思います。私は秋田国際教養大学、秋田県立大学、秋田工業専門学校の3人のメンバーと共に仙北市西木町にある「農家民宿 のどか」で、高橋佳子さん、由希子さん親子の下で11月4日、5日の2日間の農家民泊体験をさせて頂き、11月26日の収穫祭では料理体験をさせて頂きました。

11月4日の農家民泊の日にはすっかり外も寒くなり、紅葉はまさに盛りを迎えていました。ファームステイへと向かうバスの中で、私は今年初めて見る紅葉の美しさに、すっかり目を奪われてしまいました。今年の8月までの一年間、アメリカへ1年間の留学をしていた私にとって、ダイナミックに景色が変わっていく西木町へ向かうバスの旅は、異国へと旅立つ飛行機の旅に重なりました。

あっという間のバス移動が終わり、民泊「のどか」に到着すると、早速高橋さん親子が名物犬のハチと共に迎えてくれました。高橋さんの家は平屋の大変立派な家で、家の周りの景色は、広々とした畑がくつろいでいるかのようゆったりとしていました。家の裏には小さな魚が軽やかに泳ぐ池、そしてその裏には秋色に色づく立派な山があり、大変美しい場所でした。

2日間の農家民泊体験では、あいにくの前日の雨の影響で農業をすることができませんでしたが、その代わりに私たちはたくさんの貴重な体験をさせて頂きました。そのすべてをここで書くことは出来ませんが、ここでは特に思い出に残った幾つかを抜粋したいと思います。

私にとって一番思い出に残ったことは、全員で作った一日目の夕食と二日目のお弁当です。二日間という短い時間の中で、私達は本格的なお寿司やおにぎりを握りました。普段は食事をするときも勉強や次の予定のことを考えてしまう私にとって、大学生活の時間スピードや課題から離れ、他大学の友達とお寿司握りに没頭した時間は最高の気分転換になりました。私たちが作ったお寿司やおにぎりのほかにも由希さんが揚げて下さったキノコとサツマイモの天ぷらや、カレーライス、大根のサラダ、ふろふき大根、そして炊き立てのご飯、味噌汁などのたくさんの料理を頂きました。二日間で、私が料理の美味しさと、食材の美味しさに何度も感動しました。

もう一つ印象に残ったことは、皆とゆったりと過ごした平和な時間です。今回の民泊体験では角館の武家屋敷を練り歩いたり、看板犬のハチと戯れたり、温泉に行ったり、メンバーと一緒に秋田の方言カルタをしたりしました。アパートと大学を往復する日々と異なる、あたたかみのある時間を過ごすことができました。

また、雪が降る中に行われた収穫祭においても餅つき、餅作り体験、高橋さんにプレゼントするアルバム作りなど、普段は中々できないような貴重な体験をさせて頂くことができました。他の班のメンバーやホストファミリーとも色々なお話ができ、大変有意義でした。現在、西木町周辺では受け入れ可能な民宿の数が少なくなり、その影響で修学旅行生などの大きなグループの受け入れができなくなっている、という話を聞きました。少子高齢化の影響は、このような形でも影響を及ぼすのだな、と考えるようになると同時に、この価値ある民泊の良さをぜひより多くの人に知ってもらうためにはどんな方法があるだろうか、と考えるようになりました。

最後になりますが、この様な形で大変貴重な経験をさせて頂いた「農家民宿 のどか」の高橋さん親子、このイベントを企画・運営して下さった国際課の皆様、並びに本イベントをスポンサーとしてバックアップして下さった財団法人中島記念国際交流財団様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

4 班活動報告（佐藤由井さん宅：里の灯）

国際教養大学 山村 しの

農家民宿は今回が初めてだったが、西木村の自然や文化、お母さん方のあたたかさに触れ、そして他大学の学生や留学生たちとのかけがえのない出会いを通して忘れられない貴重な経験を得ることができた。今この報告書を書きながら、ここで得た経験や学び、出会いを今後の自分の糧として活かしていきたいと感じている。

佐藤さんのお宅、里の灯にお世話になった4班は私を含め4人の学生がいた。私以外の3名は、秋田県立大学の日本人学生、秋田大学のイタリア人留学生、そして秋田大学のベトナム人留学生である。班員のフレンドリーな性格や、物怖じしない姿勢も相まって初対面とは思えないほど意気投合し、終始にぎやかに過ごすことができた3日間であった。佐藤さんのお宅に着いてまず最初に体験させていただいたのはきりたんぼづくりである。炊きたてのあきたこまちの新米をすりこぎを使って粘り気が出るまでつぶし、ちょうどよくつぶしたら木の棒に伸ばしつけていく。きりたんぼをつくるのは4人にとって初めてだったため力加減に多少苦戦しながらも完成させることができた。作り終わったきりたんぼは、自家製のみそをつけて薪ストーブで焼いていく。きりたんぼが焼けるまでの間、薪ストーブを囲んでの佐藤さんとグループメンバーとの和やかな会話は、普段時間や課題に追われる学生生活から解放され心のゆとりを取り戻せる非常にリラックスした瞬間だった。自分たちで作ったみそたんぼは至福のおいしさだった。きりたんぼづくりを終えて佐藤さんの旦那さん（お父さん）に連れられてお宅の周りや集落の神社などを散策したのち、稲穂を使った飾りの制作体験をさせてもらった。飾りを作りながら、佐藤さんは年間どのように農作業をしているのか話して下さった。稲作と畑作の両方を行う佐藤さん家はお母さんが畑作、お父さんが稲作、と分担して二人で家計を支えているというお話が印象に残った。夕方になるとお父さんに連れられて、西木温泉に向かった。久しぶりに湯船につかってとてもリラックスすることができた。夕飯は佐藤さんご夫妻と一緒に食べた。自家製の野菜をふんだんに使った料理で、どの料理も本当においしかった。また、食卓を囲んで佐藤さん家のお話や西木村の話、農業の話、グリーンツーリズムの話などをすることができ、農業とともに生きる西木村の方々の声は私の心に強く印象に残った。

今回、私たち学生が西木村で農家民泊をした意義は何だったのだろうか。それは単に農家や村落の文化を「異文化」として体験するだけではなかったように思う。佐藤さんご夫妻の「若者は農業をやりたがらない」「西木村はどんどん人が減っている」という言葉が思い出されるが、農家の現状を知り、主体的な学びを得ることこそが今回の意義だったと感じている。ここで得た学びを今後につなげたいと思う。そしてまた西木村に戻ってきたいと思う。3日間お世話になった佐藤さんご夫妻に感謝の念を表して、以上を活動報告としたい。

5 班活動報告（門脇砂絵美さん宅）

秋田大学 鄭 化水

私達5班は、エリカさん、ママさん、私の女子三人グループで砂絵美さん一家にお世話になりました。普段、伝統的な日本らしい家になかなか泊まることができなく、来る前に頭のなかで、「どんな人々に会えるか、どんなスケジュールなのか」を想像し、今回の農家体験に対してすごく楽しみにしていました。

初日は、まずお茶を飲みながら自己紹介をして、そして砂絵美さんが用意してくださった昼食を食べました。桜の花びらをお茶に入れるのが初めてで、甘くて酸っぱいという想像できなかった味で少しびっくりしました。そして最も感じたのが、そこに座っている人たちは皆初対面なのに、長い知り合いみたいに自然に話したり笑ったりすることです。それは、砂絵美さんがすごく親切でフレンドリーに声をかけてくださったおかげで、私達がすぐには新しい環境に溶け込むことができるようになったと思います。

ゆっくり昼を過ごしたら、着物の体験が始まりました。浴衣は何回も着ましたが、着物は初です。着物の着方を教えてくださいながら着付けて頂いた砂絵美さんとお母さんのおかげで、日本女子っぽく写真が取れるようになり、いい記念になりました。季節の原因で、田んぼに行けなかったですが、自家菜園の方で農業体験を行うことができました。季節の果物と野菜がいっぱいで、どちらも美味しかったです。その中で印象深かったのは生大根の食べ比べです。中国では大根を細く切ってからそのまま食べられますので、ぜひ他の方にもこういうふうに食べてみてほしいと思いました。農園から帰って、夕食の手伝いをしてから田沢湖の温泉にきました。普通の温泉と比べると水質が少し違って、田沢湖のほうが美肌効果があるそうです。

翌日の朝には、おにぎりを作ってみました。なかなか三角になれないこととか、中身が出ているなどの問題を起こしてしまいましたが、やっぱりみんなとやるとすごく楽しくなります。

11月26日には餅つきとアルバム作りを行いました。餅つきは日本の伝統として海外でも流行っていて簡単に操作できそうに見えますが、実は重くて難しかったです。

今回このイベントを通して、まず普段触れることができない農家さんたちとのつながりが築かれ、これからさらに強くなるようにしたいです。私は地域文化学科に所属し、私自身は地域の人文について興味を持っていますが、なかなか実際に地域と触れながら地域の文化を学ぶのが難しいです。今回は地域の人々と交流できた上に、仙北という地域に興味を持つようになりました。次は20人みんなと一緒に来ることが難しいと思いますが、私たち三人はまたお邪魔したいと思っています、このような地域間のつながりを大切にしたいです。

楽しい体験、本当にありがとうございました！

6 班活動報告（能美紀子さん宅：西の家）

秋田大学 金 ハンソル

平成29年11月4日の朝，農業体験ツアーが始まりました。私たちは6班で，メンバーは引率教職員の安部さん，秋田大学の私，秋田県立大学の布谷さん，秋田国際教養大学のパリシャモン（ニーナ）で総4人でした。ほかの班より先に1番にバスから降りて，優しいような能美さん（西の家）と会ってお宅に到着しました。家の周りは背の高い木や柿の木が多くありました。6班の農家民泊は約130年以上の古い日本の伝統的な家でした。中に入ると外見と違って，古く見えなかったです。荷物を部屋において，昼ご飯を食べましたが，メニューはその家で育てた野菜を使ったカレーでした。とても美味しかったです。食事を終えて角館に行きました。武家屋敷の中は入らなかったですが，紅葉は美しく，角館の特産品も見て面白かったです。夜桜の皮で作られた物品が多かったですが，価格が高くてびっくりしました。家に帰ってきて，泊まる部屋の説明を聞いて家の外見の説明を受けた後，畑に行きました。部屋はもともとお客さんの部屋で，壁には風景画が描かれていて，先祖が描いた絵と説明を聞きました。家の屋根の説明と家の庭にある池，神社を見ました。屋根を修理するには多くの条件が必要で，池には腕ぐらいの大きな鯉がいました。家の庭が大きな森のようでびっくりしましたが，自然と家が調和を成して美しかったです。畑は前の宿泊客が農作の仕事を終えてやるのがなくて，野菜の説明を聞きました。私は田舎出身で畑は慣れていますが，そこで育てる農作物が他の種類のものがあった面白かったです。私の国と日本の農業の違いと日本の独特さを学びました。夜ご飯はハタハタときりたんぽがメインメニューでした。きりたんぽは，班員全員で作りましたが，きりたんぽが好きな私はこの体験が初めてなのでとても面白かったです。夜ご飯も全部美味しかったです。11月5日，おいしい朝ご飯を食べて弁当作りをしました。栗ご飯，おでん，から揚げ，漬物などを作って昼ご飯で食べましたが初めて食べてみた食べ物なのに本当においしかったです。このツアー通じて日本の農家の特殊性と日本の優しい心を学びましたし大切な思い出を得ました。また，2週のあと，11月26日日曜日に収穫感謝祭ツアーがありました。先の体験ツアーの最後の場所だった西木カタクリ館へ到着して能美さんと会いました。また会えて本当にうれしかったし，能美さんも私たちを歓迎してくれました。参加者全員が外に出て，もちつきをやりました。私もやりましたが，意外に杵が重くて思ったよりうまくできなかったですが，初めてやったもちつきだから面白かったです。作ったもちを使って，ひな祭りの時に食べるもちを二つ作りました。これもはじめてやったことで面白いし，おいしかったです。お昼ご飯を食べるとき，能美さんが作った料理を食べました。大きな弁当箱が三つでおいしい料理がたくさんあって幸せでした。日本に来て，和食や農家の食事を食べる機会がなかったですが，今回おいしい料理をたくさん食べました。食べながら能美さんと話し合いましたが，まだ私は日本語がうまくないけど，対話するときいつも笑顔で話を最後まで聞いてくださって優しさを感じました。普通の生活で感じなかった農家体験の特有の暖かな人の心を感じました。その日は雪がたくさん降って雪景色が立派でした。今回のツアーが全部終わって能美さんと挨拶をしましたが，情が湧いて別れるのが残念でした。この農家体験のプログラムで日本特有の農家文化も体験したし，人の優しさも感じました。参加してとても良かったです。次に機会があったら是非参加したいです。この大事な経験をできるようにしてくれてありがとうございます。

中国にいた時に、このような直接に農民たちの家に泊まったり、一緒に何かを作ったりしたことはないです。そもそも、中国にこういう体験が珍しいと思います。中国の民家というと、やはり貧乏で、大変そうなイメージがありますが、日本の民家はゆったりしていて、生活を楽しんでいそうです。だから民泊という機会があると知ったとたん、申し込みました。秋田の周りにも見に行きたいですし、民家のおばあちゃんとおじいちゃんにも話したいです。

私たちのグループは日本人の市嶋先生、タイ人のオームさん、モンゴル人のホランさんと中国人の私からなっています。私たち4人は沢山ばあさんと爺さんの家に邪魔しました。初日の昼に着きました。着いて、少し休憩して、きのこを取りに行きました。きのこはよく食べますけど、手でとるのはなかなかありません。どれが食べられるのかとどれが食べられないのか、爺さんは詳しいです。今、食べ物は全部スーパーで買ってくるので、食べ物について全然わかりません、ほんとうに農家に来て、農家の人たちが心を込めて生活を送るのは一番すばらしいと思います。散歩した後、ちょうどお腹がすいたとき、ばあさんはぶっかけそばとざるそば作ってくれました。ばあさんと爺さんの家は農家ですけど、そばの店も営んでいます。私は日本に来て、もう半年経ちましたが、そばを食べたことはたった一回だけです。ばあさんと爺さんから聞いて、ここのそばは育ちから、出来上がりまで、全部自分でやるそうです。ばあさんと爺さん2人は心からそばを愛しています。この仕事も大好きでここまでやってきます。そういう気持ちはとても貴重だと思います。やらなければいけなくてやっているわけではなく、やりたくてやっているわけです。

そのあと、みんな一緒に温泉に入り、ドライカレーを食べながら雑談していました。気持ちよかったから、自分のばあさんのことを思い出しました。

いろいろしました。でも、今日のわかれが一番切なかったです。アルバムを作りながら、思い出はどんどん湧いて来ました。人生はやはり一期一会です。私にとっては、会えなくなるかもしれませんが、この三日間で、ばあさんと爺さんから教わった純朴と善良は一生忘れられません。ほんとうにありがとうございました。

私は初めて農家民泊に参加しました。私は初めて会うグループメンバーとうまく交流ができるかすごく不安でした。民泊1日目は栗の皮むき、薪割り、ゆり根掘り、ゆべし作りをしました。栗の皮むきは農家の人に見本を見せてもらいながらやりました。最初はうまく刃が栗の皮に引っかからずむけなかったが慣れるとスムーズに作業が進むようになりました。また薪割りは平地ではなく不安定な傾斜でやったため、最初はうまくいきませんでした。しかし農家の人からアドバイスをいただきグループ全員で協力し無事作業を終えることができました。また薪割りは暖を取るために必要な作業だということも農家の方が教えてくれました。ゆり根掘りはまず掘ることが可能なゆりを農家の方が探して見つけ出しそのゆりをグループ内で交代しながら掘りました。私の出身の北海道ではゆり根をコロケとして食べるのですが、秋田県では天ぷらにして食べることが多いと聞きました。文化の違いに触れることができ良かったです。ゆべし作りはとても力がある作業が続きました。なんでもお餅をこねる作業に苦労しました。ゆべしにくるみなどを入れて食べるなど様々な食べ方も教わることができました。

民泊2日目は午後の食事会のために食事作りを手伝いました。西木町の食材を使いおにぎり、ピザ、大根のサラダなどを作りました。作業の合間にグループで有名な食べ物やお祭りの話を語り合いました。今まで自分が見てきた文化とはまた違う文化の話を聞くことができ有意義な時間を過ごすことができました。午後の食事会も西木の食材を味わうことができ、様々な人たちの話を聞くことができたので充実した時間を過ごすことができました。

収穫感謝祭では餅つきや農家の方が作った料理を食べました。食事の会話のときに、自分達が今回作った餅は一般的には3月3日のひな祭りのときに食べると農家の方が教えてくださり、ひな祭りの文化がない留学生の方々はびっくりしていて、会話が盛り上がりました。農家の方が作った料理もおいしくいただきました。また秋田弁を学んでいる留学生が私に秋田弁を教えてくれました。秋田弁は難しいが私は新しい学びができたと感じています。アルバム作りでは時間がない中でメンバー全員が協力し一生懸命に心を込めて作ることができました。

私はこのイベントを通して、普段の大学生活では体験できないことを体験し有意義な時間を過ごすことができました。これからの大学生活に生かしていきたいと思います。最後にこのイベントに携わった方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

地域交流事業アンケート 集計表

農業体験ツアー 留学生・日本人学生アンケート 結果

Result of Questionnaire of the Farming Tour for International Student and Japanese Student

回収数:27枚 単位:人

問1. あなたはどの大学の学生ですか。

Which university do you belong to?

秋田県立大学 Akita Prefectural University	4
国際教養大学 Akita International University	8
ノースアジア大学 North Asia University	1
秋田大学 Akita University	12
秋田工業高等専門学校 National Institute of Technology, Akita College	2
計	27

問2. あなたは留学生ですか, 日本人学生ですか。

Are you an international student or a Japanese student?

留学生 International student	20
日本人学生 Japanese student	7
その他 Others	0
計	27

問3. 「第三の故郷を見つける農家民泊」
をどのように知りましたか?

How did you get to know this program?

掲示 From the bulletin board	7
ウェブサイト From the web-site	4
友人・知人の紹介 From your friends	4
教職員の紹介 From professors or staffs	11
その他(複数回答を含む) Others	1
計	27

問4. 「第三の故郷を見つける農家民泊: 農業体験ツアー」
で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2017: Farming Tour?

農業体験 Farming practice	3
農家民泊 Farm stay	10
ピクニック Picnic	3
農家さんとの語り合い Talk with farmers	4
その他(複数回答を含む) Others(all)	7
計	27

問5. 農業体験に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with the farming practice?

とても満足した Very satisfied	18
満足した Satisfied	7
どちらでもない Neutral	2
不満だ Dissatisfied	0
計	27

問6. 農家民泊に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with the farm stay?

とても満足した Very satisfied	25
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
計	27

問7. ピクニックをして満足しましたか。

Were you satisfied with the picnic?

とても満足した Very satisfied	18
満足した Satisfied	7
どちらでもない Neutral	2
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
計	27

問8. 農家の方たちと交流できましたか。

Could you communicate with farmers?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	14
交流できた Yes, I could.	10
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	3
交流できなかった No, I couldn't at all.	0
計	27

問9. 他の学生及び教職員と交流できましたか。

Could you communicate with other students, staff and faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	15
交流できた Yes, I could.	11
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	1
交流できなかった No, I couldn't at all.	0
計	27

問10. 「第三の故郷を見つける農家民泊: 農業体験ツアー」
に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2017: Farming Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	21
満足した Satisfied	6
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
計	27

問11.「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」について、自由に感想・意見をお書きください。
Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2017.

- 最高だ！
- もう少し農作業できる時期がいい。
- 農家さんとの交流だけでなく、他大学の学生と交流することができたので非常に良い経験になったと感じる。また、農家さんが、農作物を育てることにおけるこだわりを知ることができたのが良かった。
- 自分の言語が通じるか不安だったが、言語が通じてグループの仲も深まったと思う。
- 初めての農家民泊でしたが、とてもリラックスできて、貴重な体験になった。みんながやさしくて、行き届いた配慮を感じた。またみんなと会いたい！
- とても楽しかったです！
- 初めての日本の農家体験でしたが、とても満足しました。人々もやさしいし、料理もおいしかったです。次も参加したいです。多様な国の人たちも話したし、大事な経験をしました。ありがとうございます。
- 英語を話すことができなくても、通じるから楽しかった。文化や食べ物、考え方や人民生を知って、仲良くなることができた。
- 農業体験ツアーはとってもよかったです。Hostがとってもやさしかったんですね。
- 始めて農家民泊に参加したんですけど、とっても楽しくて思い出になりました。
- いろいろおばあちゃんにお世話になって、ありがとうございます。
Farmstayは留学生に対してすごくいい体験だったと思います。いろいろなところから日本に来て、絶対文化も習慣も違うので、このように農家さんと交流して、おたがいに知り合って、学生のほうは農業についてわかって、農家さんは学生に教えるって、すごくいいツアーだと思います。
- 今回の農家体験本当に楽しかったです。残念なのは、季節の原因で田んぼに入ることができなくて、畑だけ見学させたことである。しかし、自然に触れながら、農家の人たちといっぱい話せて、自分の大学以外の友達できてとてもいい経験になりました。ありがとうございました！
- 日本人でしたが、中々普段体験できないことができて充実した2日間でした。他大学の友達もできました。このような企画があることは、県外からの大学生や留学生にとっても有意義だと思います。これからも続けてください。
- It's really an excellent and meaningful experience. Especially the food were awesome.最高だ！！！！ If can I want to join this programme every year.
- This farm stay was very impressive because the people are very hardworking and love their lifestyle.I am quite appreciate to meet that people and think about lot of things. I loved this event so funny , so unforgettable.
It was heart warming experience to me. For international students like us staying with grandpa& grandma and the feeling of becoming one whole family though farming experiences, warm conversations with each other is really happy time. Even though we met for the first time they were really kind to us, accomodated me so well. I'm truly thankful for that. And I'll definitely miss them.
- I enjoyed the farmstay very much. The farmes and ther family are absolutely lovely, really kind and accomodating. However, I find communication difficult as my level of Japanese is very poor as I am a beginner and no one in my grouper at the farm speak any english. It wouldn't too much I am issue, but perhaps this should be adressed in the description of the farm stay for those who may not know much Japanese.
- It is a very good experience. I am very impressed with the meal that they provided. It's very delicious. Sadly I cannot talk with them much, but I am feel that they are very nice.
- Saemi-san and her family were very accomodating. At the same time, it was nice to experience living in a japanese house & how they go about their lives. It was really fun & I wish to do it again next year.
- Even though my japanese is not very good I had a great time and was able to understand difficult conversations thanks to the other students with me.
- I'm impressed by farmers and everything. They are so nice. It's a very good experience to know more people too! So international student(as me) will have chance to learn more things.
Joining the event this time became a great and brand new experience for exploring Akita to me. Delicious meals with Akita rice and homemade vegetables by obāchan were very special for me, and it made me feel that I want to enjoy & consume Akita rice and vegetables ever if they cost a little bit more. And meeting with lots of students from different universities and talking with them are very inspiring for me. I would like to join again if there 'll be same kind of farming activities in Akita.
- I would have prefered to do more farming. However, I still had a great time!

地域交流事業アンケート 集計表

農業体験ツアー受け入れ農家アンケート 結果
Result of Questionnaire of the Farming Tour for Host Family

回収数:8枚 単位:人

問1.「第三の故郷を見つける農家民泊:農業体験ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2017: Farming Tour

農業体験 Farming practice	1
農家民泊 Farm stay	1
ピクニック Picnic	1
学生との語り合い Talk with students	4
その他 Others	1
計	8

問3. 農家民泊を実施して満足しましたか。

Were you satisfied with the farm stay?

とても満足した Very satisfied	8
満足した Satisfied	0
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
計	8

問5. 留学生と交流できましたか。

Could you communicate with International students?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	8
交流できた Yes, I could.	0
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0
計	8

問7.「第三の故郷を見つける農家民泊:農業体験ツアー」に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2017: Farming Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	8
満足した Satisfied	0
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
計	8

問2. 農業体験を実施して満足しましたか。

Were you satisfied with the farming experience?

とても満足した Very satisfied	6
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
計	8

問4. ピクニックに参加して満足しましたか。

Were you satisfied with the picnic?

とても満足した Very satisfied	7
満足した Satisfied	1
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
計	8

問6. 日本人学生および引率教職員と交流できましたか。

Could you communicate with Japanese students, staff and faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	8
交流できた Yes, I could.	0
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0
計	8

問8.「第三の故郷を見つける農家民泊:農業体験ツアー」について、自由に感想・意見をお書きください。
Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2017.

- 今回は、日本語が話せる学生さん達だったので沢山話をする事が出来、とても楽しかったです。
- 今回の参加者たちもとても積極的に楽しく過ごすことができました。来年も楽しみにしています。
- 来年も是非来ていただきたいです。

農家民泊2017も楽しく交流することができました。時期が遅かったため、しっかりと農業体験を提供できなかったのが残念でした。学生さんたちは初対面だったようですが、たくさん話して、笑って、いい交流ができていたようでした。年老いた両親も楽しそうに交流でき、受け入れに参加して良かったと思っています。日本に
いる間に何度も仙北市に足を運んでいただきたいです。お疲れ様でした。

- 毎年参加出来るといいです。

今年は人数が少なかったのととてもよく会話が出来ました。3人とも日本語が話せて楽しかったです。日本に
来てから友達が出来なかったが、ここに来ていっぱい話す事が出来て嬉しいと話してくれた方がいて、農家
交流会の意味が大きいと思いました。笑いがいっぱいでした。

地域交流事業アンケート 集計表

収穫感謝祭ツアー 留学生・日本人学生アンケート 結果

Result of Questionnaire of the Harvest Tour for International Student and Japanese Student

回収数:20枚 単位:人

問1. あなたはどの大学の学生ですか。

Which university do you belong to?

秋田県立大学 Akita Prefectural University	3
国際教養大学 Akita International University	4
ノースアジア大学 North Asia University	1
秋田大学 Akita University	12
計	20

問2. あなたは留学生ですか、日本人学生ですか。

Are you an international student or a Japanese student?

留学生 International student	14
日本人学生 Japanese student	6
その他 Others	
計	20

問3. 「第三の故郷を見つける農家民泊：収穫感謝祭ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2017: Harvest Tour?

料理の準備 Cooking	3
食事をしながらの交流会 Party and eating meals	6
アルバムの作成 Making albums	6
その他(複数回答も含む) Others	5
計	20

問4. 料理の準備に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with cooking meals?

とても満足した Very satisfied	16
満足した Satisfied	4
どちらでもない Neutral	
不満だ Dissatisfied	
とても不満だ Very dissatisfied	
参加しなかった I didn't participate in cooking meals.	
計	20

問5. 食事をしながらの交流会に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with the party and eating meals?

とても満足した Very satisfied	18
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	
不満だ Dissatisfied	
とても不満だ Very dissatisfied	
参加しなかった I didn't participate in cooking meals.	
計	20

問6. アルバムを作成して満足しましたか。

Were you satisfied with making albums?

とても満足した Very satisfied	15
満足した Satisfied	5
どちらでもない Neutral	
不満だ Dissatisfied	
とても不満だ Very dissatisfied	
参加しなかった I didn't participate in cooking meals.	
計	20

問7. 農家の方たちと交流できましたか。

Could you communicate with farmers?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	12
交流できた Yes, I could.	6
どちらでもない Neutral	1
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	
交流できなかった No, I couldn't at all.	1
計	20

問8. 他の学生及び教職員と交流できましたか。

Could you communicate with other students, staff and faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	11
交流できた Yes, I could.	8
どちらでもない Neutral	1
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	
交流できなかった No, I couldn't at all.	
計	20

問9. 「第三の故郷を見つける農家民泊：収穫感謝祭ツアー」に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2017: Harvest Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	16
満足した Satisfied	4
どちらでもない Neutral	
不満だ Dissatisfied	
とても不満だ Very dissatisfied	
計	20

問10. 「第三の故郷を見つける農家民泊」に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2017?

とても満足した Very satisfied	16
満足した Satisfied	4
どちらでもない Neutral	
不満だ Dissatisfied	
とても不満だ Very dissatisfied	
計	20

問11.「第三の故郷を見つける農家民泊」について、自由に感想・意見をお書きください。
Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2017.

- ・ 貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。
- ・ ほんとうに楽しかった。来年またやりたい。
- ・ ありがとう！
- ・ 楽しく語り合っ、イベントをやって、幸せな時間を過ごしました。
- ・ いろんな国から来た人たちと交流したし、農家の人たちも交流してとてもいい経験をしました。ありがとうございます。
- ・ この3日間本当に楽しかったです。私は地域文化学科の学生で、地域のことを習ったり、地域の人と交流したりすることが好きだが、なかなかチャンスないです。今回このイベントをお借りして、仙北市という地域の人と交流できて本当によかったです。何よりも友達もできました。今日みたいに集団的にみんなで来るのが難しいと思うが、これからは各自で農家の人たちと連絡したいと思います。この大切なつながりを続けていきたいと思います。企画のみなさまお疲れ様でした。
- ・ また来年もでたい I want to join this plan next year.
- ・ とても楽しかったです。あと、ほんとうに温かい経験でした。
- ・ 民泊の2日間だけでなく、収穫祭でも農家の方と再会できて、実家に帰ったような気持ちで楽しめました。農家の方々の思いやりがすごく、おみやげまでもらって、忘れられない体験でした。
- ・ グループの人たちとはたくさん話せたが、他の人とはあまり話せなくて残念だった。グループ内の人とはたった3日だけ仲良くなれてよかったです。
- ・ It was a great experience to participate in this event. I'll keep the communications with Nishiki people and with team members from other universities. Would like to Join again.
- ・ I have a lot of fun when party and eating meal. I like farmer very much as she's so kind.

地域交流事業アンケート 集計表

収穫感謝ツアー 受け入れ農家の方々アンケート 結果
Result of Questionnaire of the Harvest Tour for farmers

回収数:8枚 単位:人

問1.「第三の故郷を見つける農家民泊:収穫感謝ツアー」
で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in Farm Stay
in Akita 2017: Harvest Tour?

料理作り Cooking	1
食事をしながらの交流会 Party and eating meals	2
アルバムのプレゼント Present of albums	3
その他(複数回答を含む) Others	2
計	8

問3. 食事をしながらの交流会に満足しましたか。

Were you satisfied with the party and eating meals?

とても満足した Very satisfied	4
満足した Satisfied	4
どちらでもない Neutral	
不満だ Dissatisfied	
とても不満だ Very dissatisfied	
計	8

問5. 留学生と交流できましたか。

Could you communicate with International Students?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	4
交流できた Yes, I could.	4
どちらでもない Neutral	
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	
交流できなかった No, I couldn't at all.	
計	8

問7.「第三の故郷を見つける農家民泊:収穫感謝ツアー」
に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2017: Harvest
Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	6
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	
不満だ Dissatisfied	
とても不満だ Very dissatisfied	
計	8

問2. 学生と一緒に料理作りをして満足しましたか。

Were you satisfied with cooking meals with students?

とても満足した Very satisfied	5
満足した Satisfied	3
どちらでもない Neutral	
不満だ Dissatisfied	
とても不満だ Very dissatisfied	
計	8

問4. アルバムのプレゼントには満足しましたか。

Were you satisfied with present of albums?

とても満足した Very satisfied	6
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	
不満だ Dissatisfied	
とても不満だ Very dissatisfied	
計	8

問6. 日本人学生及び引率教職員と交流できましたか。

Could you communicate with Japanese students, staff and
faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	4
交流できた Yes, I could.	2
どちらでもない Neutral	
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	1
交流できなかった No, I couldn't at all.	1
計	8

問8.「第三の故郷を見つける農家民泊」に参加して満足しまし
たか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2017?

とても満足した Very satisfied	8
満足した Satisfied	
どちらでもない Neutral	
不満だ Dissatisfied	
とても不満だ Very dissatisfied	
計	8

問9.「第三の故郷を見つける農家民泊」について、自由に感想・意見をお書きください。
Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2017.

- 毎年参加出来て、楽しみにしている行事です。
- 来年も是非おいで下さい。毎年学生から良い刺激をもらっています。
- 受け入れ農家も一緒に楽しんでいます。またお会いしたいと思います。
- 今年も楽しい時間でした。時期が少し遅かったかもしれません。
- 11月始めの体験から再開して前より家族のような感じで楽しく語り合えることができました。又来ていただきたいです。待っています。
- 今回は学生とよく交流出来たので、来年も又出来たら受けたいですね。
- 突然に参加できない生徒さんが多くなり、大変ですね(先生方が)農家の方はなんとかなりますが。

留学生の皆さん、このツアーに参加してくれてありがとうございました。第三の故郷は見つけられましたか。昨年までに比べ今年は少し遅いツアー開催となり、3日間を振り返るととても寒い3日間でした。今年は雪が早く降ってきたので特別寒かった気がします。収穫感謝祭の日は雪の降る中での餅つきになりましたが、餅作りを楽しんでもらえたでしょうか。

11月4日、5日に行われたファームステイでは、5日の報告の際にそれぞれのグループで様々なことをし、とても楽しんだとの感想が多くありました。普段の学生生活では、なかなか普通の家庭を訪問する機会がなく、うっかりすると大学だけ、または観光地だけを見て帰国してしまう留学生も多いのではないかと思います。私の家では父が毎年このツアーを楽しみにしています。なぜならこの数年、このツアーの時には薪運びと薪積みをしてもらっているからです。薪を運んで小屋の中で積むという単純な作業ですが、我が家では大助かりです。単純な作業で最初はつまらない感じがするのですが、少しずつ小屋の中に薪が積みあがっていくと達成感も感じられます。一緒に薪を運びながら、積みながら、それぞれの国の事、家族の事、我が家の暮らしの事などを話しあい、どんどん仲良くなれました。

11月26日の餅作りでは、2種類のお餅を作りました。一つは杵と臼で餅をついたもの、もう一つは「笹っ葉餅」というひな祭り時に作るものです。「笹っ葉餅」は笹の葉の上に二つのお餅をのせ、色とりどりの模様をつけるのですが、皆さんが作った笹っ葉餅のデコレーションは個性あふれるもので、日本人では思いつかないような模様のものもありました。

この事業は今年で9年目でした。インバウンドという言葉が言われるずっと前から始まったこの事業のお陰で、私たちは外国の人とどう交流するかという事を学んできたように思います。元気いっぱい秋田で勉強を頑張る皆さんから元気を沢山もらいました。参加した学生の皆さんにとっては、「秋田」と聞いたときに思いうかべる人が出来たと思います。秋田での学生生活を思いっきり楽しんでください。また会いましょう。

2017年12月1日



発行

秋田地域留学生等交流推進会議

事務局 秋田大学国際課内

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

TEL 018-889-2856

FAX 018-889-3012

E-mail kokusai@jimu.akita-u.ac.jp